

広島市教育大綱改定案

現行大綱	改定素案	改定案	修正意見
<p>はじめに</p> <p>未来を担う子どもの育成こそが、これからの広島の発展の礎となります。そして、子どもの育成に当たっては、一人一人の子どもが持っている個性を生かし能力を伸ばすと同時に、社会を支える一員として社会性を身に付けさせることにより、自立して生き抜いていけるようにしなければなりません。そのためには、家庭や学校を中心としつつ、子どもの成長過程において関わりがある全ての者が「育成」に参加できるような社会にしていく必要があります。</p> <p>しかしながら、世界に類を見ないスピードで少子高齢化が進展し、本格的な人口減少社会に突入している我が国においては、子どもを含め人々にとっての生活の本拠である家族の形態が様々に変化するとともに、家族を取り巻く地域コミュニティが希薄化するなど、子どもたちを育成するための環境は厳しいものとなり、子どもの貧困の増加が社会問題化するような状況となっています。</p> <p>このような中であって、本市の子どもたちが、いかなる境遇の下にあっても苦勞を乗り越え、夢や希望に向かって挑戦するという心構えを持つよう、一人一人を大切に育成していくことができる教育システムの構築が避けられない課題となっています。また、教育システムの中心的な担い手となる公立・私立の学校について、広島広域都市圏内における教育機関としての役割分担を踏まえた上で、その在り方を長期的な観点に立って見直すことも必要となっています。</p> <p>こうした思いの下、本市における教育の課題やあるべき姿について、総合教育会議において教育委員会と議論を重ね、目指す教育の方向性やそれを実現するための教育方針、重点的な取組を示す、この「広島市教育大綱」を策定しました。</p> <p>これから平成32年度までの間においては、この大綱に掲げる本市の目指す教育が実現できるよう教育委員会とともに全力を挙げて取り組んでいきます。</p> <p style="text-align: right;">広島市長 松井一實</p>	<p>はじめに</p> <p>未来を担う子どもの育成こそが、これからの広島の発展の礎となります。その子どもたちの未来は、無限の可能性を秘めたものであると同時に、社会環境が大きく変化していく中で、多くの困難が待ち受けるものでもあります。</p> <p>世界の状況を眺めれば、経済活動等のグローバル化が進むとともに、大規模な自然災害などをもたらす地球温暖化の進行、自国第一主義の台頭による国家間の緊張の高まりなどの地球規模の課題が深刻化しつつあり、持続可能な開発目標（SDGs）が国連持続可能な開発サミットにおいて採択されたように、人類社会の持続可能性を確保するため、世界各国が連携・協調して取組を進めていくことが求められています。</p> <p>また、A Iの進化をはじめとする今後の急速な技術革新により超スマート社会（Society5.0）が到来し、人々の働き方や生き方にも大きな変化が起これると予測されています。</p> <p>国内に目を転じれば、急速に少子高齢化が進展し、本格的な人口減少社会に突入しはじめており、今後の我が国の持続的な発展のためには、人口の減少や構造変化の中でも社会・経済の活力を維持し得る地域社会システムの構築が求められています。</p> <p>本市では、こうした状況下において持続可能なまちづくりを進めるため、広島広域都市圏における市町の連携を強化するとともに、地域コミュニティを活性化し、共助の精神を基盤とした「地域共生社会」の実現を図り、これを基軸として、本市の都市像である「国際平和文化都市」の具現化を図っていきたくと考えています。</p> <p>また、子どもたちを取り巻く環境を見ると、家庭の形態が様々に変化する中、子どもの貧困の問題に加え、いじめの認知件数の増加やSNS等による誹謗中傷・差別といった子どもたちの心に関わる問題も懸念される状況がみられるなど、依然として厳しいものがあります。</p> <p>こうした状況の下でこれから成長していく本市の子どもたちには、いかなる境遇の下にあっても困難を乗り越え、夢や希望に向かって挑戦する心構えとそれを継続する力を身に付けさせるとともに、これからの都市づくりを担う人材として、地域への誇りと愛着を持ち、多様な人々と主体的・積極的に協働できる社会性を身に付けさせるための教育が必要です。</p> <p>そして、その教育を進めるに当たっては、それぞれの子どもについて、個性・特性を尊重し生かしながら、その能力を最大限に伸ばし、誰一人取り残すことなく、一人一人を大切に育てることができる教育システムの構築が不可欠であり、また、その教育システムは、家庭や学校を中心としつつ、子どもに関わる全ての者がその育成に参加するという「地域共生社会」にふさわしいものにしていく必要があります。</p> <p>さらに、一層の加速化が懸念される将来の少子化をにらみ、教育システムの中心的な担い手となる公立・私立の学校について、持続可能で質の高い教育を提供し続けることができるよう、広島広域都市圏内における役割分担を踏まえつつ、その在り方を長期的観点に立って見直すことも必要となっています。</p> <p>こうした基本的な考えの下、総合教育会議において教育委員会と議論を重ね、平成28年度に策定した広島市教育大綱を改定し、今後本市が目指す教育の方向性やそれを実現するための教育方針、重点的な取組をとりまとめました。</p> <p>これから令和7年度までの間、この大綱に掲げる本市の目指す教育が実現できるよう、教育委員会や学校とともに全力を挙げて取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">広島市長 松井一實</p>	<p>はじめに</p> <p>未来を担う子どもの育成こそが、これからの広島の発展の礎となります。その子どもたちの未来は、無限の可能性を秘めたものであると同時に、社会環境が大きく変化していく中で、多くの困難が待ち受けるものでもあります。</p> <p>世界の状況を眺めれば、経済活動等のグローバル化が進むとともに、大規模な自然災害などをもたらす地球温暖化の進行、自国第一主義の台頭による国家間の緊張の高まりなどの地球規模の課題が深刻化しつつあり、持続可能な開発目標（SDGs）が国連持続可能な開発サミットにおいて採択されたように、人類社会の持続可能性を確保するため、世界各国が連携・協調して取組を進めていくことが求められています。</p> <p>また、A Iの進化をはじめとする今後の急速な技術革新により超スマート社会（Society5.0）が到来し、人々の働き方や生き方にも大きな変化が起これると予測されています。</p> <p>国内に目を転じれば、急速に少子高齢化が進展し、本格的な人口減少社会に突入しはじめており、今後の我が国の持続的な発展のためには、人口の減少や構造変化の中でも社会・経済の活力を維持し得る地域社会システムの構築が求められています。</p> <p>本市では、こうした状況下において持続可能なまちづくりを進めるため、広島広域都市圏における市町の連携を強化するとともに、地域コミュニティを活性化し、共助の精神を基盤とした「地域共生社会」の実現を図り、これを基軸として、本市の都市像である「国際平和文化都市」の具現化を図っていきたくと考えています。</p> <p>また、子どもたちを取り巻く環境を見ると、家庭の形態が様々に変化する中、子どもの貧困の問題に加え、いじめの認知件数の増加やSNS等による誹謗中傷・差別といった子どもたちの心に関わる問題も懸念される状況がみられるなど、依然として厳しいものがあります。</p> <p>こうした状況の下でこれから成長していく本市の子どもたちには、いかなる境遇の下にあっても困難を乗り越え、夢や希望に向かって挑戦する心構えとそれを継続する力を身に付けさせるとともに、これからの都市づくりを担う人材として、地域への誇りと愛着を持ち、多様な人々と主体的・積極的に協働できる社会性を身に付けさせるための教育が必要です。</p> <p>そして、その教育を進めるに当たっては、それぞれの子どもについて、誰一人取り残すことなく、個性・特性を尊重し生かしながら、その能力を最大限に伸ばしていくという使命を教員が十分に果たすことができるよう、働き方改革の推進や教育環境の整備などを通じて、教育システムを再構築することが不可欠です。</p> <p>また、その教育システムは、家庭や学校を中心としつつ、子どもに関わる全ての者がその育成に参加するという「地域共生社会」にふさわしいものにしていく必要があります。</p> <p>さらに、一層の加速化が懸念される将来の少子化をにらみ、教育システムの中心的な担い手となる公立・私立の学校について、持続可能で質の高い教育を提供し続けることができるよう、広島広域都市圏内における役割分担を踏まえつつ、その在り方を長期的観点に立って見直すことも必要となっています。</p> <p>こうした基本的な考えの下、総合教育会議において教育委員会と議論を重ね、平成28年度に策定した広島市教育大綱を改定し、今後本市が目指す教育の方向性やそれを実現するための教育方針、重点的な取組をとりまとめました。</p> <p>これから令和7年度までの間、この大綱に掲げる本市の目指す教育が実現できるよう、学校や教育委員会とともに全力を挙げて取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">広島市長 松井一實</p>	<p>● 国際平和文化都市として継続発展するために、被爆体験の伝承者となる活動が広がりつつあるという視点を入れてほしい。</p> <p>※ 「3 重点的な取組」(1)の平和教育に係る小項目を修正した。</p> <p>● 教育システムの根幹を担うのは教員であることから、学校における働き方改革の推進について、教育システムの構築の部分に入れてはどうか。</p> <p>● 教育現場である学校を前に出した方がよいのではないかと。</p>

広島市教育大綱改定案

現行大綱	改定素案	改定案	修正意見
<p>1 本市の目指す教育の方向性</p> <p>本市は、人類史上最初の原子爆弾が投下された都市であり、「ほかの誰にもこんな思いをさせてはならない」という被爆者の願いや世界恒久平和を願う市民の心を基底として、人間の尊厳や生命の尊さを自覚し、自他共に大切にし、正義感や公正さを重んじ、人と自然の共生する平和な社会を築いていく心を育て、自立して行動する力を養うことを教育の原点としています。</p> <hr/> <p>今後は、少子化やグローバル化の進展といった国内外の社会環境の変化も踏まえながら、広島の子どもたちが以下の資質・能力を身に付け、「心身ともにたくましく思いやりのある人」として、その可能性を最大限に発揮する教育へと更に進化することを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 確かな学力、豊かな心、健やかな体 (2) 平和を希求する心 (3) 異文化への理解 (4) 互いの違いを認め合う能力 (5) 豊かなコミュニケーション能力 <hr/> <p>2 本市の教育方針</p> <p>本市は、上記1の方向性に沿った「豊かで深い学び」による広島らしい教育を実現するため、子どもにとっての生活の拠点である「家庭」、子どもの教育の主要な担い手である「学校」及び子どもの生活領域でもある「地域」が一体となって、以下の取組を推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 一人一人に上記1(1)から(5)までの資質・能力の基礎・基本を確実に身に付けさせること。 (2) 一人一人の個性を最大限生かすこと。 (3) 一人一人が大切にされること。 	<p>1 本市の目指す教育の方向性</p> <p>本市は、人類史上最初の原子爆弾が投下された都市であり、「ほかの誰にもこんな思いをさせてはならない」という被爆者の願いや世界恒久平和を願う市民の心を基底として、人間の尊厳や生命の尊さを自覚し、自他共に大切にし、正義感や公正さを重んじ、人と自然の共生する平和な社会を築いていく心を育て、自立して行動する力を養うことを教育の原点としています。</p> <p>また、本市は昭和45年以来、「国際平和文化都市」を都市像に掲げ、その実現に向けて、共助の精神を基盤とする「地域共生社会」の構築に取り組んでおり、本市の教育においては、それを担う人材の育成といった視点も重要となっています。</p> <p>今後、更なるグローバル化の進展や急速な技術革新、地球規模の課題の深刻化といった国内外の社会環境が変化していく中であっても、広島の子どもたちが、以下の資質・能力を身に付け、「心身ともにたくましく思いやりのある人」として、その可能性を最大限に発揮することができる教育へと更に進化することを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 確かな学力、豊かな心、健やかな体 (2) 平和を希求する心 (3) 本質や根源を探究し、課題解決に向けて論理的に考え行動する力 (4) 互いの違いや多様性を理解・尊重し、共生・協働する力 (5) 豊かなコミュニケーション能力 (6) 自分たちのまちを愛する心 <p>2 本市の教育方針</p> <p>本市は、上記1の方向性に沿って、誰一人取り残さない教育を提供するとともに、「豊かで深い学び」による広島らしい教育を実現するため、子どもにとっての生活の拠点である「家庭」、子どもの教育の主要な担い手である「学校」及び子どもの生活領域でもある「地域」が連携・協働しながら、以下の取組を推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 一人一人に上記1(1)から(6)までの資質・能力の基礎・基本を確実に身に付けさせること。 (2) 一人一人の個性・特性を尊重し、最大限生かすこと。 (3) 一人一人が大切にされること。 <p>こうしたことを通じて、子どもたちが自己肯定感を育み、地域への誇りと愛着を持ち、将来のまちづくりをけん引する存在へと成長していくことが期待されます。</p>	<p>1 本市の目指す教育の方向性</p> <p>本市は、人類史上最初の原子爆弾が投下された都市であり、「ほかの誰にもこんな思いをさせてはならない」という被爆者の願いや世界恒久平和を願う市民の心を基底として、人間の尊厳や生命の尊さを自覚し、自他共に大切にし、正義感や公正さを重んじ、人と自然の共生する平和な社会を築いていく心を育て、自立して行動する力を養うことを教育の原点としています。</p> <p>また、本市は昭和45年以来、「国際平和文化都市」を都市像に掲げ、その実現に向けて、共助の精神を基盤とする「地域共生社会」の構築に取り組んでおり、本市の教育においては、それを担う人材の育成といった視点も重要となっています。</p> <p>今後、更なるグローバル化の進展や急速な技術革新、地球規模の課題の深刻化といった国内外の社会環境が変化していく中であっても、広島の子どもたちが、持続可能な社会の構築に向けて、以下の資質・能力を身に付け、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく備えた「心身ともにたくましく思いやりのある人」として成長していくことを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本質や根源を探究し、課題解決に向けて論理的・主体的に考え行動する力 (2) 平和を希求する心 (3) 互いの違いや多様性を理解・尊重し、共生・協働する力 (4) 豊かなコミュニケーション能力 (5) 自分たちのまちを愛する心 <p>2 本市の教育方針</p> <p>本市は、上記1の方向性に沿って、家庭、学校、地域が連携・協働しながら、誰一人取り残さない、「豊かで深い学び」による広島らしい教育を実現することで、子どもたちがその可能性を最大限に発揮することができるよう、以下の視点に立って取組を推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 一人一人に上記1に掲げる資質・能力の基礎・基本を確実に身に付けさせること。 (2) 一人一人の個性・特性を尊重し、最大限生かすこと。 (3) 一人一人が大切にされるようにすること。 <p>こうしたことが、子どもたちが自己肯定感を育み、地域への誇りと愛着を持ち、将来のまちづくりをけん引する存在となることにもつながると考えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 心に関することが多くあり、豊かな心に全部入るように思われるので、もう少し整理をしてほしい。 ● SDGsとの関連で、持続可能な社会を創造し、主体的に行動できる力というような言葉があってもよいのではないかな。 ● 教育の方向性は、子どもたちにどうなって欲しいか、子どもたちのあるべき姿を、教育方針は、教育を提供する側がどうあるべきか、という視点で整理し、再構成してはどうか。 ● 子どもたちがこうあって欲しいという思いとして、「『心身ともにたくましく思いやりのある人』を目指します。」と切ってみてはどうか。 ● 画一的な成長を求めているわけではないということを加えてはどうか。 ※ 「2 本市の教育方針」として、一人一人に応じた取組を進めるということで整理した。 ● 子どもたちが身に付けたい資質・能力について、カテゴライズして並べ変えてはどうか。 ● 確かな学力、豊かな心、健やかな体の整理を改めて考えてはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「誰一人取り残さない教育の提供」、「学校、家庭、地域が連携・協働」は、前文よりも取組に入れた方がよいのではないかな。 ※ 「家庭、学校、地域」といった子どもに関わる全ての者が連携・協働し、「誰一人取り残さない教育を提供」するため、(1)～(3)の視点に立って取組を推進するものとして整理した。

広島市教育大綱改定案

現行大綱	改定素案	改定案	修正意見
<p>3 重点的な取組</p> <p>本市は、上記2の教育方針の下、次のことを重点的に取り組みます。</p> <p>(1) 子どもに関わる全ての人が連携・協働して、個に応じたきめ細かな質の高い教育を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理や福祉等の専門性を持ったスタッフの拡充による個に応じたきめ細かな指導 部活動等に専門性を持つ地域の人々の参加による社会体験の機会の増加 学校や地域からの様々な支援により家庭で健やかな子育てを積極的に進めることで、貧困、家庭環境の問題等を改善 家庭や小・中学校区内の地域の子どもに関わる全ての人が学校と連携・協働し、子どもの学びを支え、進める「ひろしま型チーム学校」を構築 <p>(2) 生涯にわたり、学ぶ意欲のある全ての人に学習機会を提供するよう、充実した学習環境の整備を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習機会の提供に当たり、それぞれの段階に応じて、子どもの能力を最大限に伸ばし、その可能性を広げる教育が展開できるように取り組むため、段階ごとに学習環境を整備 一人一人の意欲やニーズに応じて、生涯にわたり「学び続け」、時に応じて「学び直し」ができるよう、適切な教育段階の選択の下での柔軟な学習機会の提供が行える体制の構築 <p>(3) 公立・私立それぞれが、教育に関わる諸課題と将来像について認識を共有しながら、その特性に応じた教育の質・量の両面での役割分担を図り、多様な個性を生かし、自立できる力を身に付ける教育機会の提供を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児教育については、各園等の受入体制を充実させ教育・保育水準の向上が図られるよう、将来を見据えた各園の連携・協働の拡充に向けた取組 義務教育については、公立での教育内容や児童生徒の指導体制の充実強化を図るための取組を先導 高等学校教育については、将来の生徒数の減少を見据え、中・長期的な視点に立った公立・私立の受入体制等の在り方を検討、また、公立・私立の特性を生かした、個性を最大限に生かす教育を提供するための環境を整備 生涯を通じての教育環境の整備に当たり、学校教育の補完的な機能を有する民間教育事業者が分担している役割をより実効性あるものとするため、地域との連携や学校、家庭との関わり方について在るべき姿を検討 <p>※ 現行大綱の内容を要約して記載。</p>	<p>3 重点的な取組</p> <p>本市は、上記2の教育方針の下、次のことを重点的に取り組みます。</p> <p>(1) 一人一人の個性・特性を尊重するとともに、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育を通じて、子どもたちが、学力の定着はもとより、全人格的な発達・成長ができるよう、教員による対面授業、子ども同士の学び合いや地域社会での多様な体験活動等の協働的な学びなど、学校ならではの学びを基本とした教育活動を推進する。 それぞれの教育段階において、ICTを活用した子どもの学習進度や学習到達度に応じた指導等により、個別最適な学びを推進する。 全ての子どもに基礎的・基本的な知識・技能等を確実に定着させるほか、特定分野に才能を持つ子どもがその才能を伸ばすことができる仕組みづくりにも取り組む。また、特別な配慮を必要とする子どもへの支援の充実に取り組む。 被爆の実相と復興の歩みを確実に理解させ、平和に対する自分の考えを発信できる力を育成する平和教育をより一層推進するとともに、自分の言葉で世界に平和を語れるなど、グローバル化に対応した人材を育成するため、英語教育の充実に取り組む。 <p>(2) 高い意欲と能力を持つ教員を養成するとともに、大学等と連携しながら、学校をやりがいと魅力のある職場とすることで効果的な教育活動が行えるよう、学校における働き方改革をより一層推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員養成段階から大学と連携し、学生に教育現場の魅力を伝えることで、教員志望者の増加を図る。 ICTを活用した指導力や探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続ける力など、時代の変化に対応して求められる資質・能力の向上を図る。 学校における働き方改革の更なる推進により、子どもに向き合う時間を確保し、総合的な指導を持続的に行える学校教育体制の構築を図る。 	<p>3 重点的な取組</p> <p>本市は、上記2の教育方針の下、次のことを重点的に取り組みます。</p> <p>(1) 一人一人の個性・特性を尊重するとともに、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育を通じて、子どもたちが、学力の定着はもとより、全人格的な発達・成長ができるよう、教員による対面授業、子ども同士の学び合いや地域社会での多様な体験活動等の協働的な学びなど、学校ならではの学びを推進する。それと併せて、それぞれの教育段階において、ICTを活用した子どもの学習進度や学習到達度に応じた指導等により、個別最適な学びを推進する。 全ての子どもに基礎的・基本的な知識・技能等を確実に定着させるほか、芸術・文化、スポーツ等において、子どもの才能を伸ばしていくことができる仕組みづくりにも取り組む。 多様な特別支援教育ニーズ、LGBTの子どもや日本語指導が必要な子どもの存在などを踏まえ、特別な配慮を必要とする子どもへの支援の充実や環境の改善に取り組む。 義務教育段階や高等学校教育段階での学習内容の学び直しを含め、生涯にわたっての多様な学習ニーズに応じた学びの機会の提供に取り組む。 被爆の実相と復興の歩みを確実に理解させ、平和に関して自分の考えを持ち、それを基に行動できる力を育成する平和教育をより一層推進する。また、自分の言葉で世界に平和を語れるなど、グローバル化に対応した人材を育成するため、英語教育の充実に取り組む。 人と自然の共生が重要であるとの視点に立ち、脱炭素社会の構築に向けた環境教育や豪雨災害の教訓も踏まえた防災教育の充実に取り組む。 <p>(2) 大学等と連携しながら、高い意欲と能力を持つ教員の養成・確保を図るとともに、教員が教育活動を行う上で、学校がやりがいと魅力のある場となるよう、学校における働き方改革をより一層推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員志望者の増加を図るため、教員養成段階から学生に教育現場におけるやりがいと魅力が伝わるよう、積極的な情報発信に取り組む。 時代の変化への教員の対応力を高めるため、ICTを活用した指導力や、探究心を持ちつつ新しい知識・技能を学び続ける力などの向上を図る。 子どもに向き合う時間を確保し、総合的な指導を持続的に行うことができる学校教育体制の構築を図るため、学校における働き方改革を更に推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 協働の学びと個人の学びをともに行っていくということを入れてほしい。 「特定分野に才能を持つ子どもがその才能を伸ばすことができる仕組みづくり」の内容が明確でない。 「特定分野に才能を持つ子どもがその才能を伸ばすことができる仕組みづくり」という表現は誤解が生じやすいと思われるので、表現を修正した方がよいのではないかと。 高校レベルの音楽教育も読み取れるようにしてほしい。 特別な配慮を要する子どもへの支援について、特別支援教育や人権、LGBTも含めた多様性の理解と尊重というところを、補足的に表現した方がよいのではないかと。 生涯にわたって学べる体制をとることについて入れてほしい。 みらい創生高等学校の定時制・通信制のよさを生かすことに触れてはどうか。 生涯にわたり学ぶ意欲のある全ての人に学習機会を提供するというところを入れてほしい。 誰一人取り残さないというSDGsの大きなテーマがあつての生涯教育という関連を分かりやすく表現してはどうか。 いろんなニーズに応える教育の提供というところを少し加えてはどうか。 環境教育や防災教育、道徳心のかん養などについて言及した方がよいのではないかと。 ※ 道徳心のかん養については、「3 重点的な取組」(3)の小項目に追加した。 働き方改革と教員の魅力の両方をアピールした方がよいのではないかと。

広島市教育大綱改定案

現行大綱	改定素案	改定案	修正意見
	<p>(3) 子どもに関わる全ての人が連携・協働し、様々な境遇にある子どもの学びを支え、進める「ひろしま型チーム学校」の体制や取組を強化するとともに、まちづくりにつながる教育に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の地域社会を担う生き方や働き方についての考えを深めることができるようなキャリア教育システムの確立も視野に入れつつ、地元企業等での職場体験など、産業界と一体となった教育の充実を図る。 ・ 地域社会を構成する一員としての自覚を高め、将来のまちづくりを担う力の育成を図るため、子どもたちの地域行事や地域貢献活動への積極的な参加を促す。 <p>(4) いじめ対策については、「いじめを生まない支持的風土」の醸成などによる未然防止や、早期発見と組織的な対応に取り組みます。また、不登校対策については、個々の子どもの状況に応じた適切な支援に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの未然防止に向けて、予防的な生徒指導の充実や教育相談体制の強化、家庭や地域などの関係者が一体となった取組を推進する。 ・ いじめや不登校に組織的かつ適切に対応するため、心理や福祉等の専門性を持ったスタッフを拡充するとともに、いじめ見逃しゼロを目指した積極的な認知や保護者との密接な連携などによるいじめの早期発見を進める。 ・ 学校がNPOや民間教育事業者等と連携し、相互に協力・補完し合いながら、不登校の子どもたちの学びの機会の確保や居場所づくり等の取組を推進する。 ・ 学校で学びたくても学べない子どものために、遠隔・オンライン教育を活用するなど、ICTを活用した学びの保障に取り組む。 <p>(5) 今後の少子化を見据え、教育段階ごとに公立・私立、県・市の役割分担等を図り、持続可能な提供体制の構築に取り組むことで、質の高い教育を推進します。また、児童生徒数が増加傾向にある小・中学校や特別支援学校の教育環境の改善に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育については、幼児教育と保育の一体的な質の向上を図るとともに、持続可能な提供体制としていくため、公立園と私立園の特性を踏まえた役割分担を図る。 ・ 義務教育については、公立校を中心とした提供体制の下、学校の地域コミュニティの核としての位置付けも踏まえながら、教育面の課題解決に向けて、適正配置に努める。また、児童生徒の増加が続いている学校については、必要な教室の増設のほか、通学区域の弾力化など、ハード・ソフト両面からの教育環境の改善に取り組む。 ・ 高等学校教育については、更なる少子化の進展を見据え、県・市の役割分担の下、多様なニーズに応じた受入体制の在り方の検討や普通科の特色化・魅力化に取り組む。 ・ 特別支援学校については、県と連携を図りながら、就学区域の見直しや学校の新設を含め、広島広域都市圏全体を見据えた学校体制の在り方を検討する。 	<p>(3) 子どもに関わる全ての人が連携・協働し、様々な境遇にある子どもの学びを支え、進める「ひろしま型チーム学校」の体制や取組を強化するとともに、まちづくりにつながる教育に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の地域社会を担う生き方や働き方についての考えを深めることができるようなキャリア教育システムの確立も視野に入れつつ、地元企業等での職場体験など、産業界と一体となった教育の充実を図る。 ・ 地域の文化、伝統、自然について学びながら、地域社会を構成する一員としての自覚を高め、将来のまちづくりを担う力や利他の心を育むため、子どもたちの地域行事や地域貢献活動への積極的な参加を促すとともに、よりよい地域社会の担い手として育ていけるよう、道徳心のかん養に取り組む。 ・ 経済面や家庭環境等に課題を抱える子どもを、福祉制度をはじめ、社会全体で支援する仕組みに確実につなげることができるよう、関係機関との連携強化を図る。 <p>(4) いじめ対策については、「いじめを生まない支持的風土」の醸成などによる未然防止や、早期発見と組織的な対応に取り組みます。また、不登校対策については、個々の子どもの状況に応じた適切な支援に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの未然防止に向けて、予防的な生徒指導の充実や教育相談体制の強化、家庭や地域などの関係者が一体となった取組を推進する。 ・ いじめや不登校に組織的かつ適切に対応するため、心理や福祉等の専門性を持ったスタッフを拡充するとともに、いじめ見逃しゼロを目指した積極的な認知や保護者との密接な連携などによるいじめの早期発見を進める。 ・ 学校がNPOや民間教育事業者等と連携し、相互に協力・補完し合いながら、不登校の子どもたちの学びの機会の確保や居場所づくり等の取組を推進する。 ・ 学校で学びたくても学べない子どものために、遠隔・オンライン教育を活用するなど、ICTを活用した学びの保障に取り組む。 <p>(5) 今後の少子化を見据え、教育段階ごとに公立・私立、県・市の役割分担等を図り、持続可能な提供体制の構築に取り組むことで、質の高い教育を推進します。また、児童生徒数が増加傾向にある小・中学校や特別支援学校の教育環境の改善に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育については、幼児教育と保育の一体的な質の向上を図るとともに、持続可能な提供体制としていくため、公立園と私立園の特性を踏まえた役割分担を図る。 ・ 義務教育については、公立校を中心とした提供体制の下、学校の地域コミュニティの核としての位置付けも踏まえながら、教育面の課題解決に向けて、適正配置に努める。また、児童生徒の増加が続いている学校については、必要な教室の増設のほか、通学区域の弾力化など、ハード・ソフト両面からの教育環境の改善に取り組む。 ・ 高等学校教育については、更なる少子化の進展を見据え、県・市の役割分担の下、多様なニーズに応じた受入体制の在り方の検討や普通科の特色化・魅力化に取り組む。 ・ 特別支援学校については、県と連携を図りながら、就学区域の見直しや学校の新設を含め、広島広域都市圏全体を見据えた学校体制の在り方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア精神や、利他の精神を育むといったことを地域行事や地域貢献活動への参加のところに加えてはどうか。 ● 地域活動への参加に合わせて、地域の文化、歴史、自然といったことを学び、地域のことを考える機会とすることを表現してはどうか。 ● 家族形態の多様化や貧困、地域コミュニティの希薄化に対する方策に触れてはどうか。 ● いじめ対策や不登校対策に加え、外国籍の子どもや貧困家庭の子ども等への対応も含め、「全ての子どもが安心してできる教育環境の整備に取り組みます」といった大きな項目があってもよいのではないか。 ※ 「いじめ対策、不登校対策」は重点的な取組の大項目として維持したいことから、(1)の特別な配慮を要する子どもへの支援の充実に係る小項目を修正するとともに、(3)に新たに小項目を追加した。